

## 「乗換検索アプリと連携した超小型電気自動車の観光地利用」及び「次世代モビリティ都市間ネットワークの構築」

### (豊田市交通まちづくり推進協議会)

豊田市は、交通まちづくりに関する計画「豊田市交通まちづくりビジョン2040・行動計画(2016-2020)」を策定し、『人々の暮らしやすさ』や『まちの魅力・活気・交流』を高め、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指している。本計画に位置付けている次世代モビリティや交通機関の利便性向上に関する取組について、以下に紹介する。また、次世代モビリティに関する自治体間の横連携強化を図る体制を構築した。

#### 【乗換検索アプリと連携した超小型電気自動車の観光地利用】

##### ○この取組を行うことにした背景/理由

超小型電気自動車を活用した観光プランを予約する際に、現地受付に加えて、乗換検索アプリも活用することで、利用者の利便性向上を図った。

##### ○超小型電気自動車を活用した観光プランとは

本市の中山間地域である小原地区にて、超小型電気自動車を活用した観光プラン「OBARA Ha:mO」を実施。場所が離れている観光名所間を移動する際に、有料で車両の貸出を行った。

期間：令和元年11月16日～30日

場所：豊田市小原地区

車両・価格：

・1人乗り車両(P・COM)：計3台

30分1,000円～

・2人乗り車両(T・COM)：計3台

1人乗り料金の500円増

##### ○乗換検索アプリとの連携内容

ジョルダン株式会社の乗換検索アプリ「乗換案内」にて、車両の予約後の決済を行った。利用者は電話予約後に乗換検索アプリ上で、アプリ上に登録しているクレジットカードにて、支払を行う。また、乗換検索アプリを活用した利用者には、地域の商店で活用できるクーポン券を配布。



【乗換検索アプリに関するチラシ】

##### ○取組結果

東京や名古屋等の市外からの利用者もあり、幅広い地域へのPR効果があった。また、配布したクーポン券は、7割以上の利用者が活用しており、地域の商業者との相乗効果に繋がった。

利用実績：64台(うち、乗換検索アプリ利用:8台)

利用者の居住：

県内：名古屋、豊田、みよし、豊橋、碧南、蒲郡、東海、犬山、瀬戸、江南、一宮

県外：東京、神奈川、埼玉、新潟、大阪、兵庫、滋賀、静岡、岐阜

クーポン券利用率：74%(加盟店:15店舗)

##### ○今後の方針

本取組を小原地区以外の地域(都市部・中山間地域)へ拡大することについて、検討を行っている。

また、超小型電気自動車の利用だけでなく、公共交通機関(バスやタクシーなど)など、様々な交通手段との連携についても検討している。

本市は、このようなMaaS(Mobility as a Service)に関する検討を進めており、関係団体(交通事業者や民間企業、大学、関係省庁等)と「豊田市MaaS検討委員会」を立ち上げ、豊田市版MaaSの定義や実施内容、実施体制等の検討を始めている。

#### 【次世代モビリティ都市間ネットワークの構築】

本市は、次世代モビリティに関する横断的な自治体間連携を行うため、『次世代モビリティ都市間ネットワーク』を令和元年7月に設立した。本ネットワークは、超小型電気自動車や移動支援ロボット等といった多様な次世代モビリティに関する事業や課題の情報共有、規制緩和に向けた共同事業の実施などに取り組み、次世代モビリティの普及促進を図ることを目的としている。

令和2年1月末現在、12自治体が参加をしている。



【次世代モビリティ都市間ネットワーク設立総会】